

旅館・民宿・民泊 宿

- 38 丸田屋 57-3434
- 31 寺下丁子屋 57-2327
- 35 みはらや 57-4053
- 36 丁兼(澤田屋) 57-3268
- 37 あぶらや 57-3178
- 38 新まきの 57-3020
- 39 いんきよ 57-2131
- 40 色吉 57-4510

その他

他

- 41 郷原酒店 57-3021
- 42 松下商店(食料品) 57-3041
- 43 尾張屋(OBARAJUN) 090-7319-0222
- 44 奥ジャパン 24-0636
- 45 和(なごみ)〜きもの〜

バス・タクシー

- おんたけ交通(バス) 57-2346
- 南木曾観光タクシー 57-3133

駐車場

- バス …… 2,000円
 - マイクロ …… 1,500円
 - 乗用車 …… 500円
 - 二輪車 …… 200円
- ※駐車料金は保存事業に活用されています

- 中央駐車場 57-2581
- 町営第1駐車場(バス) 57-3883
- 町営第2駐車場 57-3885
- 町営第3駐車場 57-4032

味わい所 味

- 11 やまざり(五平餅) 57-3134
- 12 吉村屋(そば) 57-3265
- 13 俄屋里久(そば) 57-2522
- 14 糸びや(甘味処) 57-3054
- 15 えのき坂満寿庵(菓子処)
- 16 鈴屋(甘味処) 57-3891
- 17 わちのや(おやき) 090-1458-7496
- 18 しんや(五平餅) 57-3221
- 19 音吉(山家料理) 57-3600
- 20 金剛屋(そば) 57-3116
- 21 木ノ花屋(五平餅) 57-3228
- 22 白木屋(喫茶) 050-5373-5379
- 23 おもて(五平餅) 57-2682
- 24 好日珈琲(喫茶) 24-0287
- 25 中華そば 三殿社中 080-7838-3608

お土産・木工製品 品

- 26 田丸屋 57-3275
- 27 檜屋 57-3175
- 28 いさばや 57-3064
- 29 岩井屋 57-3008
- 30 永徳屋 57-3010
- 31 伊勢屋 57-3112
- 32 新岩井屋 57-3538

～木曾路はすべて山の中である～
中山道ハイキングコース
 国指定史跡(信濃路自然歩道)

木曾の自然に抱かれて
中山道を歩く(信濃路自然歩道)
 目的と時間にあわせてハイキング
 昔の旅人の気持ちになって中山道を歩いてみませんか。

馬籠～妻籠
ハイキングコース

- お元気コース(徒歩2.5時間～3時間)**
 全長9kmゆっくり3時間かけて歩いてみましょう。
 馬籠～馬籠峠は急な短い坂(2.5km)
 妻籠～馬籠峠はゆるやかな長い坂(6.5km)
- 省エネコース(徒歩1.5時間)**
 馬籠(妻籠)から峠までバスタクシーで
 行って、下り坂のみ歩いてみましょう。
 峠～妻籠はゆるやかなスローペースをゆっくり
 下って1.5時間。



完歩証明書

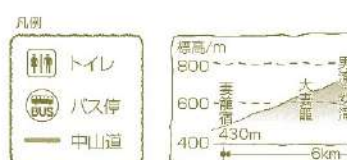
楽しい旅の記念に是非どうぞ
 妻籠宿、馬籠宿各案内所に、中山道完歩証明書1枚
 300円で販売。また、各宿泊施設にて妻籠や馬籠ハイ
 キング券をお受け取りになり、観光案内所(馬籠・妻籠のど
 ちらでも)にお持ち頂くと、検(ヒノキ)で作られた完歩証
 明書1枚300円を150円でお求めいただけます。

手荷物運搬サービス

身軽になって歴史の道を歩きましょう
 【受付期間】3月20日～11月30日まで毎日
 【受付時間】午前8時30分～11時30分
 【到着時間】午後1時
 【料 金】手荷物一個につき1,000円
 【取 扱 所】●妻籠観光案内所
 TEL.0264-57-3123
 ●大妻籠の荷物は各宿で受付
 (大妻籠取扱所(おしんづか))
 TEL.0264-57-3029
 ●馬籠観光案内所
 TEL.0573-69-2336

※運行、臨時便については
 お問い合わせください。

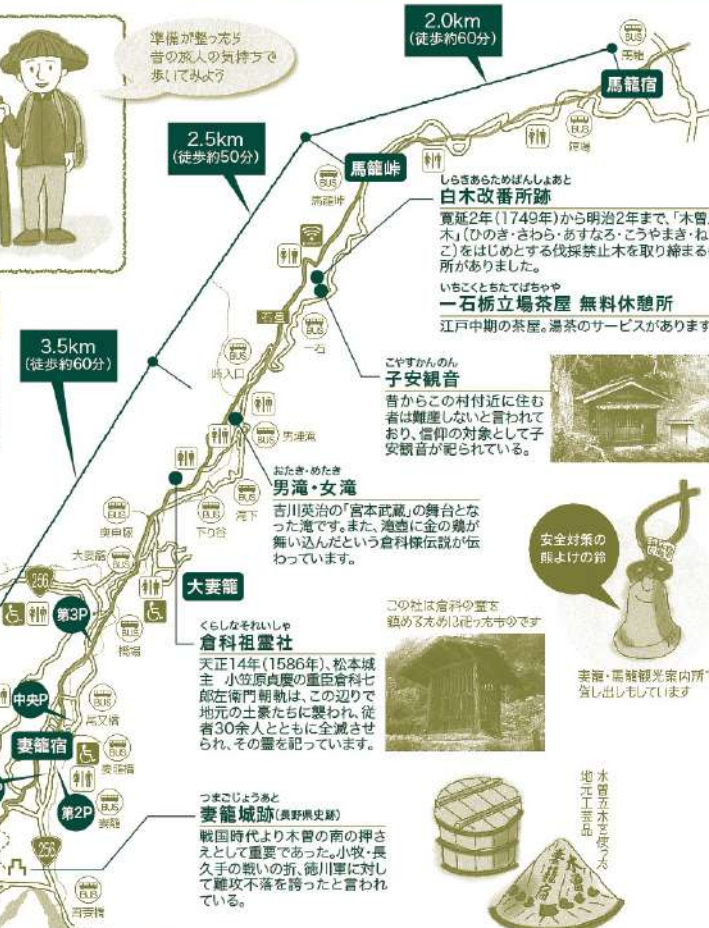
4.0km (徒歩約40分)



妻籠～南木曾駅～天白公園

ハイキングコース

季節を楽しむ(徒歩1.0時間)
 妻籠から中山道を歩きましょ。
 歴史の橋「桃介橋」を渡りるとそこは
 このハイキングの終点「ミツバツツジ」
 大乱舞!
 (4月上旬～中旬)



2.5km (徒歩約50分)

2.0km (徒歩約60分)

3.5km (徒歩約60分)

4.0km (徒歩約40分)

4.0km (徒歩約40分)

4.0km (徒歩約40分)

4.0km (徒歩約40分)

4.0km (徒歩約40分)

和智塾神社祭礼
 【七月二十三日】
 妻籠宿の鎮守様の祭礼。
 御神輿が「ア」にもさよなら、「さよなら、さよなら」の掛け声で威勢良く宿場内を練り歩きます。

ひなまつり
 【二月下旬～四月初三日】
 端午の節句【四月中旬～六月五日】
 七夕まつり【七月下旬～八月七日】
 妻籠宿内ふれあい館に於いて、季節ごとに風情ある催しが楽しめます。

文化文政風俗絵巻之行列
 【十一月二十三日】
 150名前後の女々が、宿場役人・武士・浪人・鳥遣い・女・無宿・早駕籠・目明し・飛脚・虚無僧・女旅・男旅など扮して、文化文政時代に中山道を歩いたであろう旅人の姿を再現します。

妻籠宿案内図

重要伝統的建造物群保存地区



中山道つまごしゆくくあんないず

歴史の面影を残す宿場町

江戸と京を結ぶ中山道は、
 山深い木曾路を通ることから
 木曾街道とも呼ばれていました。
 中山道六十九次のうち江戸から数えて
 四十二番目となる妻籠宿は、
 中山道と伊那街道が交差する
 交通の要衝として古くから
 賑わいをみせていました。

町並み
 保存
 の
 原点

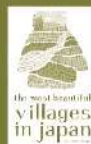
お問い合わせ

一般社団法人 南木曾町観光協会
 (妻籠観光案内所)
 〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻2196-1
 TEL 0264-57-2727 FAX 0264-57-4036
 TEL 0264-57-3123(観光案内所専用)

(一社)南木曾町観光協会ホームページアドレス
<https://nagiso.jp/>

妻籠観光協会ホームページアドレス
<https://tsumagoi.jp/>

南木曾町ホームページアドレス
<http://www.town.nagiso.nagano.jp/>



妻籠宿

町並み保存運動

明治になり鉄道や道路が木曾川沿いに造られ、宿場としての機能を失った妻籠宿は、宿場の一途をたどりました。やがて昭和四十年代になり集落保存と景観が修復され、妻籠宿の町並みが見直されました。

妻籠の人たちは町並みを守るために家や土地を「売らない・貸さない・こわさない」を中心とする住民意識をつくり、ここで生活しながら、江戸時代の町並みという貴重な財産を後世に伝えています。

寺下の町並み

日本でも最初に宿場保存事業が行われた寺下地区は、妻籠宿保存の原点とも言うべき町並みです。

延命地蔵

文化10年(1813年)、光徳寺住職・中外和尚が、地蔵尊像の浮かび上がっている岩を蘭川(あらさきがわ)から運んできて安置したものです。

せきぶつ「かんざんしんたくく」尊
石仏「寒山拾得」像
国内唯一とされる、石仏「寒山拾得」像。石に彫られた双体像は他に類例がない。

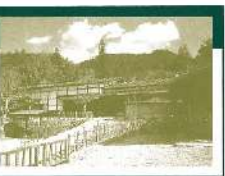
光徳寺 こうとくじ

石垣を築き、白壁をめぐらせた気品ある寺で、明治9年(1900年)に開山されたと言われています。



妻籠宿本陣

妻籠宿本陣には、島崎氏が任命され、明治に至るまで本陣、圧屋を兼ね務めました。島崎藤村の母の生家で、次兄区助が妻子にきています。平成7年4月に復原されました。



長野県天然記念物 ぎんもくせい

神宮・尖崎氏の庭木として、代々愛育されてきた巨木です。(県宝)

高札場 こうさつば

今日でいう「官報掲示版」で、幕府が庶民に対し、禁制や法度等を示したものです。

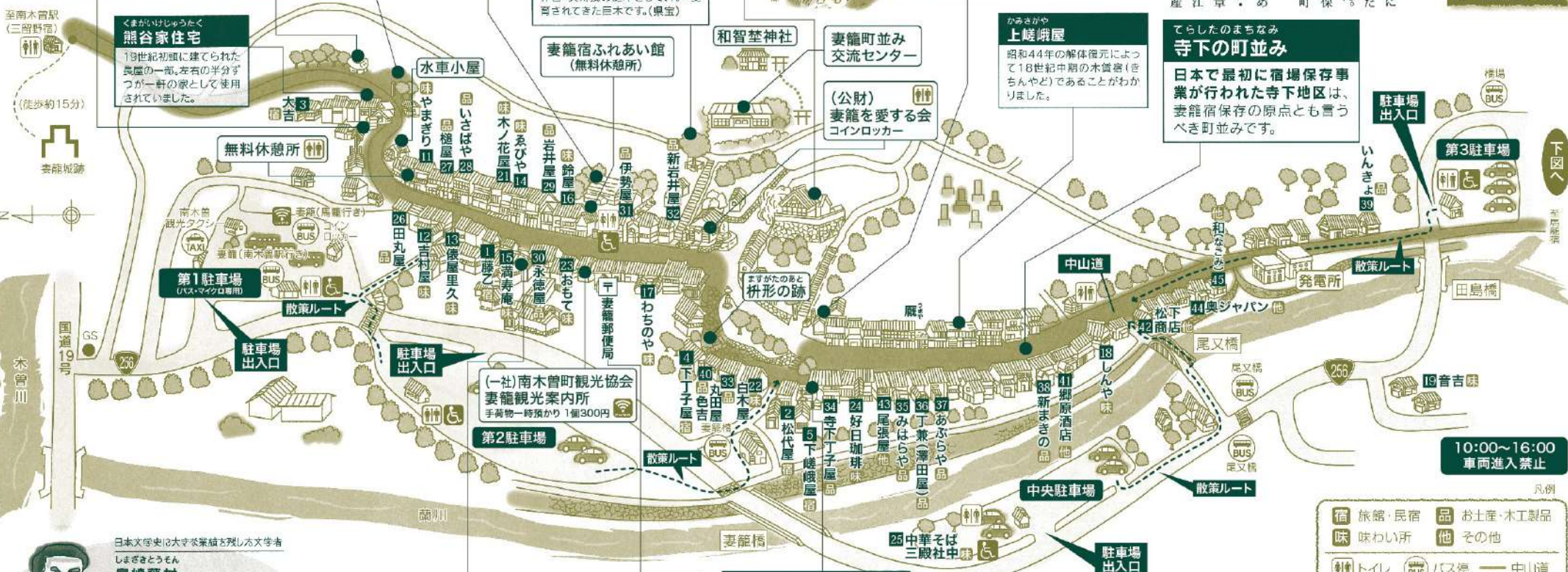


くちどめはんしんあんと 口留番所跡

17世紀半ばまで関所が置かれていました。

鯉岩 こいいわ

大きな鯉の形をした岩で中山道三名石の一つでしたが、明治24年の濃尾大地震で、形が壊れてしまいました。



第3駐車場
いんきよ 39
田島橋
19音吉味
10:00~16:00 車両進入禁止

- 凡例
- 宿 旅館・民宿
 - 品 お土産・木工製品
 - 味 味わい所
 - 他 その他
 - トイレ
 - バス停
 - 中山道

日本文学史は大学卒業後も残した文学者
しまざきとうもん
島崎藤村
浪漫派詩人として『若菜集』などを刊行。さらに小説家として、『破戒』『春』などで代表的な自然主義作家となった。ほかに、日本自然主義文学の到達点とされる『家』、父をモデルとした歴史小説『夜明け前』など。

つまごしゅくあんないにん 妻籠宿案内人

【ガイド料】案内人1人につき2,000円
◆お問い合わせのうえ御利用ください。
【申し込み先】
【公財】妻籠を愛する会内、妻籠宿案内人の会
Tel, Fax. 0264(57)3513
※原則として10日前までにお申し込み下さい。



わきはんしんおおくや 脇本陣奥谷

代々本陣・問屋を務めた家で、現在の建物は明治10年に建て替えたものです。また、島崎藤村の初恋の人と言われる「ゆふ」さんの跡先でもあります。国の「重要文化財」に指定されています。歴史資料館では、南木曾町や木曾路の歴史、町並み保存運動、全国の重要伝統的建造物群保存地区の町並みなどの資料を模型や映像を用いて分かりやすく展示しています。

南木曾町博物館
TEL. 0264-57-3322

【妻籠宿本陣】
大人・300円 小人・150円
【脇本陣奥谷・歴史資料館】
大人・600円 小人・300円
【共通券】 大人・700円 小人・350円
開館時間/9:00~17:00(16:45入館制限)
休 休 日/年末年始(12/29~1/1)

下嵯峨屋 しもさかや

当初、長屋であったものです。妻籠宿における庶民の住居を代表する形式をとどめています。

ゆうひんしりょうかん 郵便史料館

島崎藤村『夜明け前』にも開局当時の様子が描かれています。郵便に関する資料の展示があります。(土・日・祝休館)



石柱道標

妻籠は、中山道と飯田街道の分岐点として栄えた所で、この碑は明治14年(1881年)に、飯田・近江・地元の商人によって建てられたものです。



おまつまご 大妻籠